

氏名 吉田 徹

所属 岩手県立中部病院

役職 院長

これまでのキャリア

1984年に自治医科大学卒業し県立宮古病院で初期研修しました。

自治医大の義務年限9年終了後に岩手医大の病理学教室で学位取得しております。その後県立病院へ戻り消化器外科・救急専門医を取得しました。釜石病院で東日本大震災を経験しており千厩・久慈・宮古病院長を経て、今年から中部病院長として赴任致しました。一昨年は漢方専門医を取得し西洋医学で対応が難しい領域を如何に補完するか勉強中です。

私のもとではこれが学べる

当院は中部医療圏（約20万人）の急性期医療を担当する病院です。毎日平均10台以上の救急搬送があります。当院で2年研修すれば、頻度の高い救急疾患を効率よく経験することができ、各診療科の専門医からの指導を受けることができます。緩和ケア病棟があり緩和ケア専門医から緩和ケア・在宅緩和などの勉強もできることも大きな特徴です。また急性期病院としての役割を果たすためには、回復期・慢性期病院や開業医の先生方・各施設・訪問看護ステーションなどとの連携が重要です。2019年から体制強化した入退院支援センターにおいて入院時からその人の入院前の生活に戻す視点で入退院支援を学ぶことも当院では可能です。

教育にかける思い

私自身も一人診療所長を3年間勤めましたので総合診療的なスキルの習得の大切さは身を持って体験しております。高齢化の進む地域へ幸せをもたらすためには臨床スキルを高めることに加えて、院内外の多職種との連携の重要性を学ぶことも必須であり、その意味でも当院は適した環境にあります。

医学生へのメッセージ

私たちのミッションは地域に幸福をもたらすことです。医療はその手段の一つです。地域で暮らす人に幸せをもたらすためには多くのことを学ばなければいけません。当院で臨床スキルと地域連携能力を高めて地域の幸福を考える医療提供ができる医師への成長を目指しましょう。